

家庭学習の定着を目指して！（保護者の方へ）

名古屋市立福春小学校

家庭学習とは

福春小学校では、「宿題+自主学習」を家庭学習とします。自主学習とは、子どもたちが学習内容を自分で決めて（課題を見つけて）取り組む学習のことをいいます。

家庭学習の大切さについて

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「話す」「聞く」「書く」「読む」「計算する」は、欠かすことのできない『生きるための力』です。

学校ではさまざまな取り組みを通して基礎学力の向上を図っていますが、ご家庭との連携を進めることにより、その効果が何倍にも高められます。

家庭学習は、学校での学習内容を定着させるとともに、自ら学ぶ意欲や態度を育てる上で大切な習慣です。小学生のうちから家庭学習の習慣を身に付けた子は、中学校、高等学校、ひいては社会人になっても、自分で計画を立て、すべき事を進んで行うことができるようになります。ぜひ、家庭学習の習慣を身に付けさせたいものです。

1 取り組みの方法

- 月に5日間を**家庭学習ウィーク**として、宿題の他にも自主学習に取り組みます。取り組む内容は、子どもが自分で決めます。慣れるまでは、お家の人からアドバイスをしてあげてください。「勉強することの例」を示したプリントをお渡ししますので、子どもがよく目にする場所に掲示してください。

ただし、始めの二日間（5月13・14日）は、ノートの書き方を学習するために、全員、学年に応じた同じ課題を出します。

【家庭学習ウィークの学習の進め方】

- ① 学習の開始時刻を確かめてから、始めに学校から出された「宿題」に取り組みます。
 - ② 「勉強することの例」や下記に示した「各学年の学習時間の目安」を参考にして、自主学習ノートに自分で決めた学習「自主学習」を行います。日付と教科・タイトルを書きます。
(例) 5/15 (水) 国語「オリジナル俳句作り」
 - ③ 学習の終了時刻を確かめて、ノートに貼り付けた「家庭学習がんばりカード」に記入します。
時間は、宿題も含めた学習時間です。途中で休憩しながら取り組んでもよいと思います。
- ※ 家庭学習ウィークの最終日には、家の人に印かサインをもらいます。
 - ※ 毎日、ノートを提出します。

家庭学習がんばりカード

年 組 名前()

★ 毎日がんばりましょう。
★ ノートには、日付と教科・タイトルを必ず書きましょう。
★ 毎日のがんばりを、このカードに記録しましょう。
★ 家庭学習ウィークの最終日にお家の人に
見せましょう。

日づけ		自主学	宿題	勉強した時間	日づけ		自主学	宿題	勉強した時間
曜日		○×	○×		曜日	○×	○×		
1日	水				17日	金			分
2日	木				18日	土			
3日	金				19日	日			

家の人の印
またはサイン

家庭学習ウィーク (〇) をしよう

★ 各学年の学習時間の目安 ~ 学年 × 10分以上 ~ ★

2年生…20分 3年生…30分 4年生…40分 5年生…50分 6年生…60分

【家庭学習ウィーク以外の学習の進め方】

- ① 始めに学校から出された「宿題」に取り組みます。
 - ② 「勉強することの例」や下記に示した「各学年の学習時間の目安」を参考にして、自主学習ノートに自分で決めた学習を行います。日付と教科・タイトルを書きます。
(例) 5/15 (水) 国語「オリジナル俳句作り」
自主的な取り組みにしていますが、なるべく毎日取り組めるとよいです。
 - ③ ノートに貼り付けた「家庭学習がんばりカード」の自主学欄に○を記入します。
- ※ 取り組んだ翌日には、ノートを提出します。

2 家庭学習における保護者の役割

(1) 学習時間の確保

塾や習い事など、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。毎日決められた時間に決められた場所で、言われなくても取り組める力が少しずつ育つのが理想です。そのためには生活のリズムを整えることも大切になります。また、低学年のうちには、お子さんの意欲に応じて、具体的に何をすればいいのかアドバイスしてあげてください。

(2) 学ぶための環境づくり

テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた環境で学習できるように、各家庭の実情に応じて工夫したり、話し合ったりしてみてください。まずは、おうちの方の目の届く場所で取り組ませましょう。(そして取り組みを褒めましょう。) 高学年になるに従って、一人でも集中して学習できるようになるのが理想です。

(3) 声掛け・励まし

自主的に机に向かうようになるまでは、声を掛けてあげてください。3年生くらいからは、だんだんと声掛けが少なくできるのが理想です。時には、学習した成果を見たり、学習内容を家庭での話題にしたりして、褒めたり励ましたりしてあげてください。「苦手だから復習する」「できるようになりたいから頑張る」「もっと知りたい」などの姿が見られたら、たくさん褒めて励ましてあげてください。

3 自主学習の内容について

学習内容の例(別紙)を示し、お子さんにお渡しします。これを参考にして、子どもたちが自主的に家庭学習を進めていけたらと思います。最終的には、自分で計画を立て、課題を見付け、自分なりの学習法を確立してくれることを期待しています。

※ 学年が上がるにつれて、自主勉強の時間が長くなるのが理想です。

家庭学習（3～6年生）

よく 目にする 場所にはっておきましょう

名古屋市立福春小学校

心がまえと約束

- ① 宿題を先にしましょう。
- ② 自主勉強用のノートを1冊用意しましょう。
- ③ ノートには日にちと勉強した教科を書きましょう。
- ④ 姿勢よく ていねいな字で書きましょう。
- ⑤ 答え合わせや間ちがい直しまで しっかりするようにしましょう。

♪ 勉強することの例 ♪

<p>【国語】 ていねいな字で！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字練習（ドリルや教科書で） ○ 意味調べ ○ 読書→感想や気に入った文を書き出す。 ○ 問題集での問題練習 ○ 教科書の音読 →大切なことをノートにまとめる。 	<p>【算数】 答え合わせ・直しが大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計算練習（ドリルや教科書で） ○ 教科書の問題をもう一度解く。 ○ 自分で問題を作って解く。 ○ 問題集での問題練習 ○ 教科書の音読 →大切なことをノートにまとめる。
<p>【理科】 図や絵も入れよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実験の手順と結果をまとめる。 ○ 観察したことをまとめる。 ○ 図鑑を見て調べたことをノートにかく。 (花・植物・昆虫・生き物・天気など) ○ 問題集での問題練習 ○ 教科書の音読 →大切なことをノートにまとめる。 	<p>【社会】 図や絵も入れよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書に出てきたキーワードについて くわしく調べる。 (用語・地名・人名・できごと など) ○ 都道府県名や年表を覚える。 ○ 問題集での問題練習 ○ 教科書の音読 →大切なことをノートにまとめる。
<p>【音楽・図工・家庭・体育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リコーダーの練習 ○ 絵や工作のアイデアスケッチ ○ 体育の技のコツをノートに書き出す。 ○ なわとびの練習の記録をつける。 ○ 料理を作って、レシピや感想を書く。 ○ 教科書の音読（保健・家庭科） ○ 大切なことをノートにまとめる。 	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞記事を切り抜いて 感想や意見を書く。 ○ テスト直しをする。 ○ 家族や友達とのできごとを日記に書く。 ○ ローマ字やアルファベットの練習 ○ 好きな歌の歌詞をノートに書き出す。 ○ 読書をして記録を残す。

※ テストの日に向けて、**テスト勉強** をするのもおすすめ！！

かてい学しゅう（2年生）

よく 目にする ばしょにはっておきましょう

なごやしりつふくはる
名古屋市立福春小学校

こころがまえと やくそく

- ① しゅくだいを 先に しましょう。
- ② じしゅべんきょうよう ノートを 1さつ よういしましょう。
- ③ ノートには 日にちと べんきょうしたきょうかを かきましょう。
- ④ しせいよく ていねいな字で かきましょう。
- ⑤ こたえ合わせや まちがいなおしまで しっかり しましょう。

♪ べんきょうすることのれい ♪

【国語(こくご)】

- ひらがなや カタカナ かん字の れんしゅうをする。
- ひらがなや カタカナ かん字でしりとりをする。
- かん字ドリルの 文を ノートに かきうつす。(こたえ合わせも わすれずに)
- にっきや えにっきを かく。
- どくしょをして すてきだとおもった 文や ことばを かき出す。
- どくしょをして よんだ かんそうを かく。

【算数(さんすう)】

かならず じゅぎょうのノートを見て こたえ合わせとまちがいなおしをする。

- きょうかしよの もんだいに くりかえし とりくむ。
- きょうかしよの うしろについている もんだいに とりくむ。
- じぶんで もんだいを つくって とく。
- けいさんドリルの もんだいに とりくむ。

【そのた】

- ずかんを見て えを かく。(虫・花・どうぶつ など)
- 花や虫 生きものの かんさつにつきをつける。
- なわとびや ボールなげの れんしゅうをして ノートに きろくを かく。
- 人やふうけいの えを かいて いろをぬる。
- すきな うたの かしや ドレミを ノートに かく。